

調査報告書

〔2018年版ローラー系部品マーケット総覧〕

『再編か撤退かで揺れる
ローラー系部品業界』

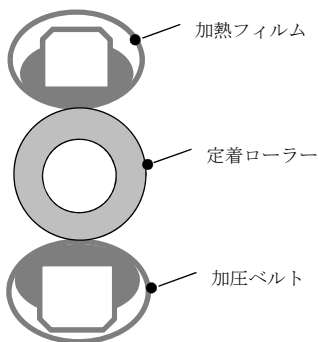
＝事業環境の激変に対応力が迫られる部品メーカーの現状と将来性＝



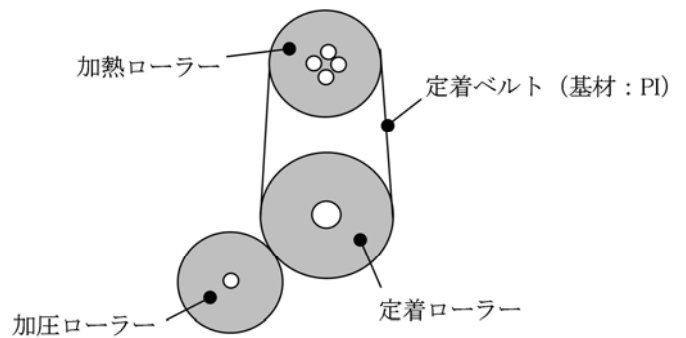
＜キヤノンの内製パーツメイン工場
キヤノン化成 岩間事業所＞



＜専門トップメーカー 住友理工のタイ工場＞



＜キヤノン「LBP654C」の外部加熱定着技術＞



＜コニカミノルタ「Accurio Press C3080」
の省エネ定着システム＞

2018年6月



〈調査概要〉

I. 調査テーマ

『再編か撤退かで揺れるローラー系部品業界』

＝事業環境の激変に対応力が迫られる部品メーカーの現状と将来性＝

II. 調査主旨

ハードメーカーの再編が急速に進んでいる。特に、米・ゼロックスが富士フイルムグループに入る事が発表され、事務機業界最大規模の会社が誕生する。一方で、リコーを始め、富士ゼロックス等大手事務機メーカー各社が電子写真部門のリストラを実施し、将来への負担を軽減し始めている。こうした動きに対応して、ローラー系部品メーカーも大きな影響を受けている。大手部品メーカーほど、価格競争に巻き込まれた場合、利益が減速し、事業継続の意味が薄れてくる。部品の製造部門を子会社化して本体から切り離す、海外に生産を移管するなどの人件費の削減が急務である。

また、部品の市場シェアが高いメーカーであっても、安い材料への代替が進めば、特定の材料しか使用しない部品メーカーの存在は危うくなる。部品メーカーの事業が成り立たなくなれば、事務機メーカーに与える影響も少なくない。

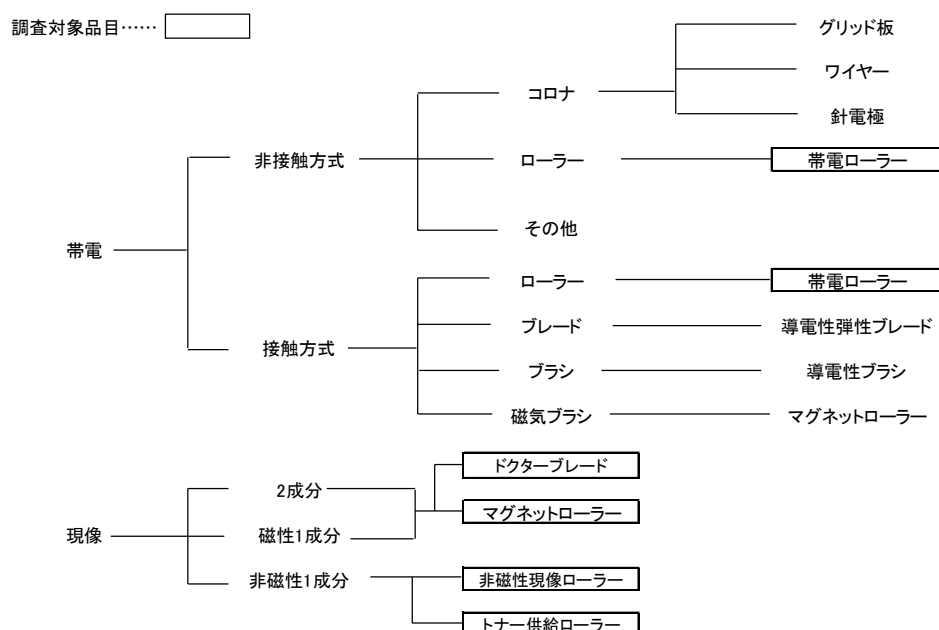
ただ、コストカという点において部品専門メーカーは内製メーカーを上回っている。今後の成長が期待される新興国市場における低価格製品では部品専門メーカーの「良い製品を安く提供していく」という役割がより重要性を持つ。また世界的な環境規制強化を背景に、定着器を改良して消費電力を低減していくというのは全ハードメーカー共通の技術課題となっており、ここでも部品メーカーの果たす役割は小さくない。

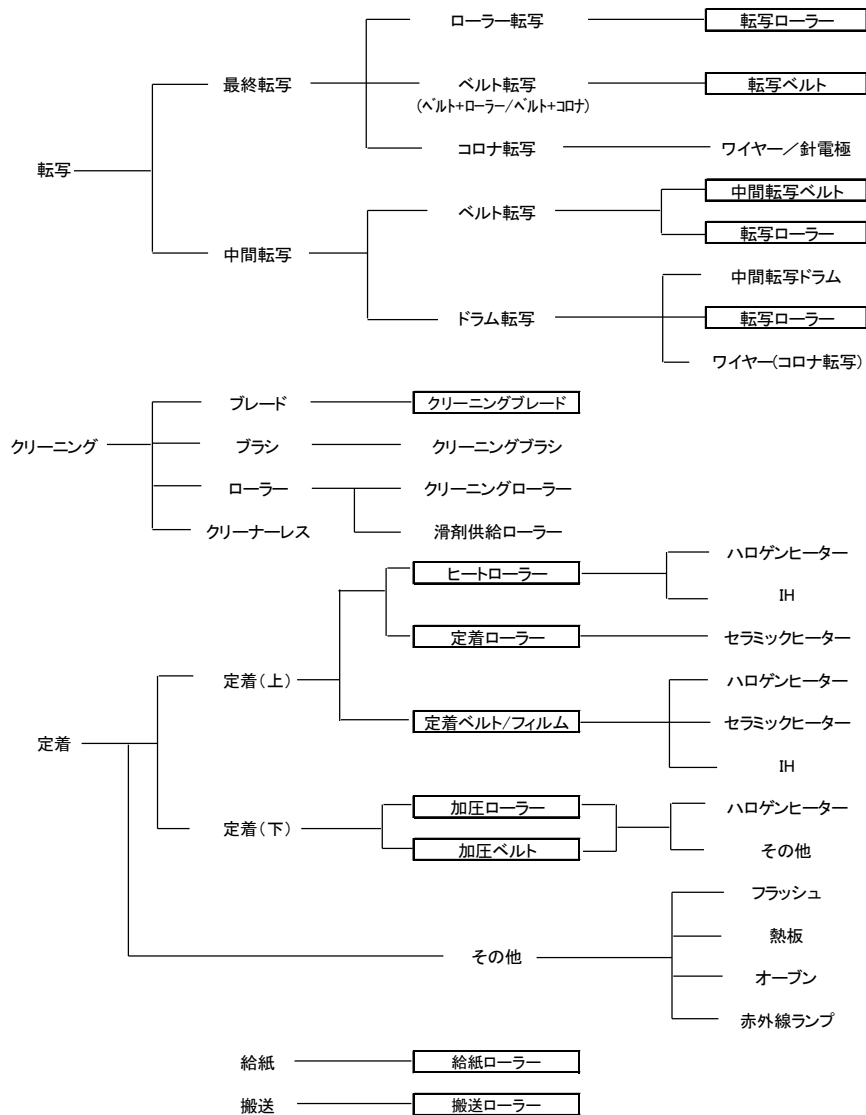
また、13 回目に当たる本年版はこうした急激な事業環境の変化が、ローラー部品メーカーに直撃している現状と問題点をあぶり出すと同時に将来性を多方面から調査・分析する。

日系ローラー専門メーカー、中国・韓国系ローラーメーカー・内製メーカーを詳細分析

III. 調査対象品目と調査対象先

1. 調査対象品目





2. 調査対象先

- 2-1. ローラー専門メーカー：日本メーカー(33社)／韓国メーカー(11社)／中国メーカー(70社)／香港メーカー(1社)／台湾メーカー(2社)／その他(6社)／内製メーカー(6社) (合計約 129社)
- 2-2. システムメーカー(主要 14社)：複写機メーカー／プリンタメーカー／FAX メーカー

IV. 調査範囲及び調査方法

1. 調査範囲

調査対象範囲は2015年～2021年とする。

2. 調査方法

- 1) 調査対象先メーカーへの直接訪問面接調査
- 2) 公開されている文献、資料、統計などの分析及び調査
- 3) 弊社に蓄積されているデータの活用

V. 調査形態、調査期間、他

- 1. 調査形態：本調査はマルチクライアント方式による調査である。
- 2. 調査期間：2018年4月～2018年6月中旬
- 3. 調査報告書刊行日：2018年6月26日
- 4. 提出報告書：A4判ワープロ製本
- 5. 価格：400,000円 (消費税別途)
- 6. 調査担当：山本 幸男／吉田 晃介

(TEL：03-3831-9201、FAX：03-3831-9204、 ホームページ：http://www.datasupply.jp/
E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp)

《目 次》

[調査結果の要旨]

A. 分析編

A-1. 部品別市場動向	1
1. 出荷本数(2015年~2021年) 2. 出荷金額(2015年~2021年)	
3. 用途別市場動向(2017年/2021年) 4. サイズ別市場動向(2017年/2021年)	
5. 材料別市場動向(2017年/2021年) 6. 部品別技術、材料動向	
7. 価格動向、寿命 8. ローラーメーカーの出荷金額シェア(2017年)	
9. ユニット化への対応 10. プロダクションプリンタと大判プリンタ用部材の出荷状況	
11. 部品別メーカー別生産拠点 12. ローラー系部品の参入メーカー一覧	
13. システム別使用部品点数	16
14. プロセス別メーカーの最新動向	17
14-1. メーカー別プロセス概要全体 14-2. プロセス別メーカー動向	
14-3. 個別メーカー最新動向	
キヤノン/リコー/富士ゼロックス/コニカミノルタ/シャープ/東芝テック/ 京セラドキュメントソリューションズ/ブラザー工業/沖データ/村田機械/ HP(S-Printing Solutions) /レックスマーク (Ninestar グループ)	
A-2. ハードウェアの出荷動向	32
1. ハードウェアの方式別出荷台数(複写機/プリンタ/FAX)	32
2. 2016年のハードメーカー別方式別出荷台数	33
2-1. 複写機の出荷台数 2-2. レーザー/LED プリンタの出荷台数	
2-3. レーザー/LED FAX の出荷台数	
A-3. 中国及び東南アジア地域におけるシステムメーカー/部品メーカーの生産拠点	36

B. 部品別市場編 45

形状図と材料、製造工程、使用本数/メーカー別市場動向、技術動向、価格、供給関係、工場

[1]帯電ローラー/[2]現像ローラー/[2]-1. 現像部合計 [2]-2. マグネットローラー	
[2]-3. 非磁性現像ローラー/[3]トナー供給ローラー/[4]転写ローラー/[5]中間転写ベルト/	
[6]定着ローラー/ベルト [6]-1. 定着部合計 [6]-2. 加圧部合計 [6]-3. ヒートローラー	
[6]-4. 定着ベルト [6]-5. 加圧ローラー [6]-6. 加圧ベルト/[7]クリーニングブレード/	
[8]給紙ローラー/[9]搬送ローラー/[10]ドクターブレード	

C. 個別メーカー編

C-1. 国内専業メーカー(50音順)	181
---------------------	-----

<共通調査項目>ローラー系部品の売り上げ高(複写機・LBP向け/ATM向け/インクジェットプリンタ向け)/出荷本数・出荷金額(2015年~2021年予測)/用途別サイズ別出荷本数・出荷金額(2015年~2021年予測)/材料別出荷本数・出荷金額(2015年~2021年予測)/技術及び材料の動向/価格動向・寿命/材料購入先/供給先一覧/国内外の生産拠点

[1]I.S.T/[2]荒井製作所/[3]イノアック/[4]NOK/シンジーテック/[5]カネカ/	
[6]錦城護謨/[7]金陽社/[8]グンゼ/[9]昭和電線ケーブルシステム/[10]信越ポリマー/	
[11]住友ゴム工業/[12]住友電気工業/[13]住友理工/[14]TDK/[15]東邦ゴム工業/	
[16]日星電気/[17]ニッタ化工品/[18]日東電工/[19]NEOMAXエンジニアリング/	
[20]バンドー化学/[21]日立金属/[22]フコク/[23]ブリヂストン/[24]明治ゴム化成/[25]ヤマウチ	

C-2. 内製メーカー

[1]キヤノン/[2]リコー/[3]富士ゼロックス/[4]コニカミノルタ/[5]東芝テック/	
[6]京セラドキュメントソリューションズ	

C-3. 海外専業メーカー

[1] Ah-Sung Chemical (韓国) / [2] Foshan Ascend Precision Accessories (中国) / [3] Galaxia Device (韓国) / [4] Jahwa Electronics (韓国) / [5] Sang-A Frontec (韓国) / [6] Shenzhen Fancy Creation Industrial (中国) / [7] Shenzhen LEPUTAI Technology (中国) / [8] Taejin Precision (韓国)	
--	--

C-4. その他メーカー

[1]日本メーカー/[2]海外メーカー	
---------------------	--

※実際のレポートには、数字やコメントが入っています。

[2] リコー

分析編

1) モノクロ機 (2018年6月現在)

	帯電	露光	現像	転写	定着	クリーニング
モノクロ PP	コロナ	レーザー			定着ベルト(PD)	
A3複合機 75~90ppm						
A3複合機 25~60ppm						
A3複合機 13~20ppm	ローラー					
A4複合機	コロナ	LED				
A3プリンタ 75ppm						
A3プリンタ 32~38ppm						
A4プリンタ SP300/400系	ローラー	LED				
A4プリンタ						
SP2000系/SP200系						

A3複合機のメイン機種 (25~60ppm)

分析編

		転写	定着	クリーニング
キヤノン	モノクロ	ベルト+ローラー: PP, 高速PPC (85ppm~) コロナ: 高速PPC (55~75ppm) ローラー: 中低速PPC, プリンタ	ヒートローラー+加圧ローラー: PP ヒートローラー+加圧ローラー: 高速PPC (65ppm~) 定着フィルム+加圧ローラー: 中低速PPC, プリンタ	ブレード
	カラー	中間転写ベルト+ローラー	ヒートローラー+加圧ベルト: C10000/C8000 H+ベルト+加圧ベルト: C800/C700/C600 H+ベルト+加圧ローラー: 高速PPC 定着フィルム+加圧ローラー: 中低速PPC, プリンタ 定着ローラー+加圧ベルト: M452/M477	ブレード: PP, 中高速PPC クリーナーレス: C3300
リコー	モノクロ	コロナ: PP, 高速PPC, プリンタ ローラー: 上記以外	定着ベルト+加圧ローラー: PP, A3中速機 ヒートローラー+加圧ローラー: 上記以外	ブレード
	カラー	中間転写ベルト+ローラー	ヒートローラー+加圧ローラー: A4カラー中高速 定着ベルト+加圧ローラー: 上記以外	ブレード (PPではブレードブラシ)
富士ゼロックス	モノクロ	コロナ: PP, 高速PPC ローラー: 中低速PPC, プリンタ	ヒートローラー+加圧ベルト: 中低速A3PPCなど ヒートローラー+加圧ローラー: 上記以外	ブレード

2) カラー機

カラー PP C9200系/C7200系
カラー PP C5200系
A3複合機 77~65~80ppm
A3複合機 77~30~60ppm
A3複合機 77~18ppm
A4複合機
A3プリンタ 77~40ppm~
A4プリンタ 77~30~40ppm
A4プリンタ 77~30ppm
A4プリンタ 77~20ppm

2017年11月
定着は定着ベ
タの C5200系は

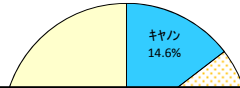
分析編

8. ローラーメーカーの出荷金額シェア (2017年)

1) 複写機・LBP向け

単位: 億円

	2017年	
	金額	%
キヤノン		14.6%
住友理工		
NOK/シンジーテック		
ブリヂストン		
Fancy (中国)		
ヤマウチ		
住友ゴム工業		
日星電気		
その他		
合計		



分析編

5. 材料別市場動向 (2017年/2021年)

※調査対象のあるメーカーの合計。

	2017年	%	EPDM		ウレタン (ポリウレタン)		シリコーン		NBR ベース	エポキシ樹脂/ゴムベース	PPA/PIFE	その他	合計	
			ゴム	フォーム	ゴム	フォーム	ゴム	ゴム+PEA						フォーム
			2021年 (予測)	%	2021年 (予測)	%	2021年 (予測)	%						2021年 (予測)
帯電ローラー	2017年	%												
	2021年 (予測)	%												
		%												
非磁性複写機ローラー	2017年	%												
	2021年 (予測)	%												
		%												
ドクター供給ローラー	2017年	%												
	2021年 (予測)	%												
		%												
転写ローラー	2017年	%												
	2021年 (予測)	%												
		%												
ヒートローラー	2017年	%												
	2021年 (予測)	%												
		%												
加圧ローラー	2017年	%												
	2021年 (予測)	%												
		%												
クリーニングブレード	2017年	%												
	2021年 (予測)	%												
		%												
給紙ローラー	2017年	%												
	2021年 (予測)	%												
		%												
搬送ローラー	2017年	%												
	2021年 (予測)	%												
		%												
ドクターブレード	2017年	%												
	2021年 (予測)	%												
		%												

2017年における複写機・LBP向け円※となっている。トップメーカーはシンジーテック (198億円)、ブリヂストンも100億円未満で、50億円超のメーカー社となっている。その他は、40億円台社、10億円未満: 9社となっている。

全般的に業績は頭打ち・下落傾向にある。前身の北辰工業と日東工業が現在の出荷金額は半減している。一方で二桁成長を続けている。

※実際のレポートには、数字やコメントが入っています。

分析編

<部品の生産拠点>

社名	部品名	場所
I.S.T	中山 I.S.T (中国)	
荒井製作所	東莞荒井橡膠製品有限公司 (中国)	
	Thai Arai Co., Ltd (タイ)	
イノアック	東莞井上五金橡膠有限公司 (中国)	
	蘇州井上中鼎弁公機器有限公司 (中国)	
	INOAC PHILIPPINES(フィリピン)	
	INOAC VIETNAM (ベトナム)	
エステー産業	佛山龍昇打印機零件有限公司(中国)	
	新智徳精密零件(深圳)有限公司	

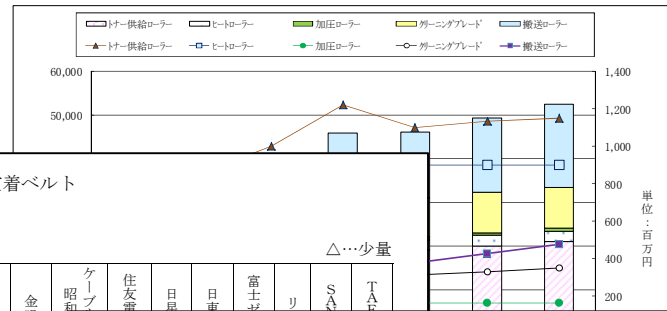
Shenzhen Fancy Creation Industrial

[6] Shenzhen Fancy Creation Industrial(中国)

1. 全体状況

1) 出荷本数/出荷金額の推移(2015年~2021年)

年	2015年	2016年	2017年	2018年 (見込)	2019年 (予測)	2020年 (予測)	2021年 (予測)
出荷本数 (千本)	トナー供給ローラー						
	ヒトローラー						
	加圧ローラー						
	クリーニングブレード						
	搬送ローラー						
対前年比							
出荷金額 (百万円)	トナー供給ローラー						
	ヒトローラー						
	加圧ローラー						
	クリーニングブレード						
	搬送ローラー						
対前年比							



定着ベルト

7. 供給先一覧

部品メーカー	I, S, T	NOK/シンジーテック	キヤノン	金陽社	昭栄	ケイブ	住友	日見	日東	富士	リ	S A	T A
供給先													
PPC メーカー	キヤノン												
	リコー												
	富士ゼロックス												
	コニカミノルタ												
	シャープ												
	京セラ*キョメントソリューションズ												
	東芝テック												
プリンタ (FAX) メーカー	HPS-Printing Solutions												
	キヤノン												
	ブラザー工業												
	沖データ												
	富士ゼロックス												
	京セラ*キョメントソリューションズ												
	リコー												
	コニカミノルタ												
	村田機械												
	HPS-Printing Solutions												
シンダー													
レックスマーク (Ninestarグループ)													
オセ (キヤノングループ)													
その他													

(注) グンゼは、定着ベルト用基材のみを納入。

転写ローラー

1. 出荷本数(2015年~2021年)

年	2015年	2016年	2017年	2018年 (見込)	2019年 (予測)	2020年 (予測)	2021年 (予測)
メーカー							
イノアック							
NOK/シンジーテック							
金陽社							
住友ゴム工業							
日立金属							
ブリヂストン							
明治ゴム化成							
ヤマウチ							
個票分小計							
対前年比							
*キヤノン							
*Ah-Sung Chemical(韓国)							
*Jahwa Electronics(韓国)							
*Shenzhen LEPU/TAI(中国)							
*Taejin Precision(韓国)							
*サードパーティ他							
個票外小計							
対前年比							
合計							
対前年比							

*...用途別・材料別出荷本数/出荷金額の対象外

※ 転写ローラーは、モノクロでは1本/台、カラーでは1次転写で4本、2次転写で1個の合計5本/台が使用される。ただし、カラーの1次転写にはゴムローラーではなく、金属シャフトを使う場合が主流となっている。

① 2017年の出荷本数は対前年比102.5%の6,115万本。キヤノン及びブラザーのプリンタ向けを中心に需要が回復した。2018年も引き続き微増傾向が見込まれているが、2019年以降は横道いから微減傾向となっている。

② 日本の専業メーカーでは、住友ゴム工業が全体需要の1/3以上を生産・出荷する圧倒的なトップメーカーである。以下、イノアック、ヤマウチが続く。NOK/シンジーテックや日立金属は新規案件から撤退しており、旧製品のみを生産。

- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、iso@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み 2018年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

	日本語版		英語版		部数		金額
	価格 (消費税別)	刊行日	価格 (消費税別)	刊行日			
《定期刊行物》							
* 「月刊電子写真総合情報」 —電子写真に関する総合的なレポート— (1986年～) 年間1,200～1,300頁	年会費: ¥700,000 月会費: ¥60,000	毎月 20日	\$7,000 \$600	毎月末	日 英	年 月号より ヶ月/年	
《2018年刊行物》							
* 2018年版[感光体マーケット総覧] 『固定部品化が進む感光体市場の展望』	¥500,000	2/23	\$5,200	4/25	日 英		
* 2018年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『産業印刷分野への本格導入が進むインクジェット ビジネスの最新動向』	¥500,000	3/29	\$5,000	6/29 予定	日 英		
* 2018年版[ローラー系部品マーケット総覧] 『再編か撤退かで揺れるローラー系部品業界』	¥400,000	6/26	\$4,000	8/下旬 予定	日 英		
* 2018年版[トナーマーケット総覧] 『環境問題に直面し始めたトナー業界のゆくえ』	¥600,000	8/28 予定	\$6,000	10/20 予定	日 英		
* 2018年版[MFPマーケット総覧] 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ・FAX市場編	¥600,000 (フルレポート) ¥350,000/ ¥350,000	12/12 予定	\$6,000 \$3,500/ \$3,500	2019 3/末 予定	日 英 日 英		
《2017年刊行物》							
* 2017年版[感光体マーケット総覧] 『電子写真の心臓部品・感光体の市場変貌』	¥500,000	2/23	\$5,200	4/5	日 英		
<<新レポート>> * 2017年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『産業用インクジェット印刷市場の詳細分析』	¥500,000	3/29	\$5,000	6/1	日 英		
* 2017年版[ローラー系部品マーケット総覧] 『部品のユニット化が動き出すローラー系部品業界』	¥400,000	6/27	\$4,000	8/22	日 英		
* 2017年版[トナーマーケット総覧] 『コスト競争力が市場を立て直すトナー業界の未来図』	¥600,000	8/28	\$6,000	10/20	日 英		
* 2017年版[MFPマーケット総覧] 『選択と集中が加速する事務機業界の将来図』 総合分析編・PPC市場編/ プリンタ・プロダクションプリンタ・FAX市場編	¥600,000 (フルレポート) ¥350,000/ ¥350,000	12/12	\$6,000 \$3,500/ \$3,500	2018 3/5	日 英 日 英		
《その他の刊行物》							
* 2014年版[企業便覧シリーズ] 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500	2014年 10/31	日 英		
* 2013年版[オフィスユーザー調査] 『インドにおける500社の複写機・LBP等の写真付ユーザー実態調査』	¥800,000	2013年 9/25	—	—			